

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（設定日：2003年6月27日）
運用方針	外国投資信託証券を中心に投資を行い、グローバルな株式市場（除く、日本）の動きをとらえることを目標に運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。
	バンガード・グロス・インデックス・ファンド（アドミラル・シェアクラス）
	米国株式
	バンガード・バリュース・インデックス・ファンド（アドミラル・シェアクラス）
	米国株式
	バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド（アドミラル・シェアクラス）
	欧州株式
	バンガード・エマージングマーケット・ストック・インデックス・ファンド（アドミラル・シェアクラス）
	新興国株式
当ファンドの運用方法	<p>■日本を除く世界主要国の株式に実質的に投資し、グローバルな株式市場（日本を除く）の動きをとらえることを目標に運用を行います。</p> <p>■主として、バンガードが設定・運用するインデックス型の4つの米ドル建て米国籍外国投資信託証券に投資します。</p> <p>■バンガードの4つのインデックス・ファンドの基本配分比率は、日本を除くグローバルな株式市場の時価総額等を勘案して、概ね以下の比率で投資を行います。</p> <p>バンガード・グロス・インデックス・ファンド…… 約32.5%</p> <p>バンガード・バリュース・インデックス・ファンド…… 約32.5%</p> <p>バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド…… 約30.0%</p> <p>バンガード・エマージングマーケット・ストック・インデックス・ファンド…… 約5.0%</p> <p>※時価総額等を勘案して基本配分比率は将来的に見直しを行うことがあります。</p> <p>■原則として、対円で為替ヘッジは行いません。</p>
組入制限	<p>■株式への直接投資は行いません。</p> <p>■外貨建資産への投資には、制限を設けません。</p>
分配方針	<p>■年1回（原則として毎年4月5日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。</p> <p>■分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

三井住友・ バンガード 海外株式ファンド

【運用報告書(全体版)】

(2019年4月6日から2020年4月6日まで)

第 **17** 期

決算日 2020年4月6日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは外国投資信託証券を中心に投資を行い、グローバルな株式市場（除く、日本）の動きをとらえることを目標に運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
 お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
 受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率		
	円	円	%	%	百万円
13期(2016年4月5日)	18,161	110	△10.7	94.7	18,120
14期(2017年4月5日)	20,175	330	12.9	97.3	19,221
15期(2018年4月5日)	21,739	320	9.3	98.4	19,892
16期(2019年4月5日)	23,394	400	9.5	98.2	21,383
17期(2020年4月6日)	18,837	220	△18.5	96.7	16,708

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

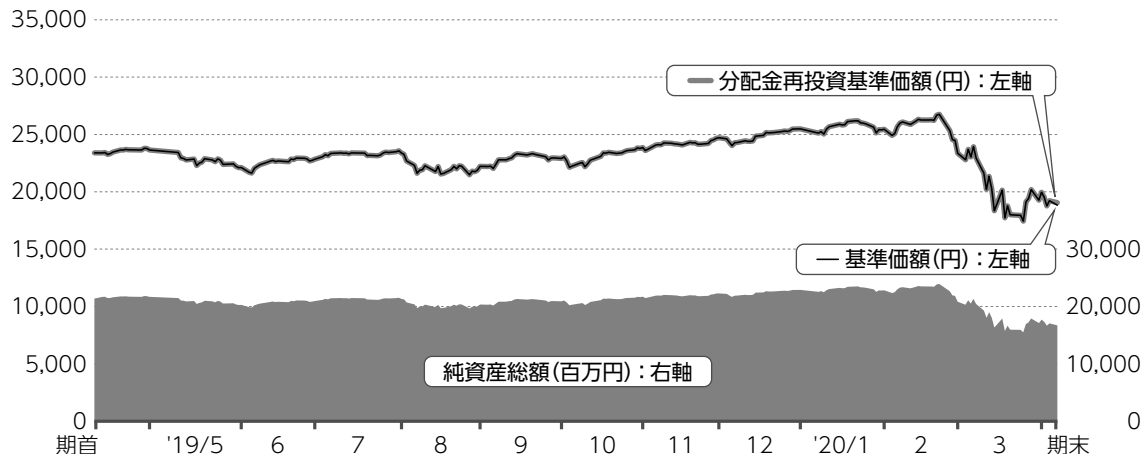
年月日	基準価額		投資信託証券 組入比率
		騰落率	
(期首)	円	%	%
2019年4月5日	23,394	—	98.2
4月末	23,651	1.1	98.0
5月末	22,123	△5.4	98.0
6月末	22,837	△2.4	97.8
7月末	23,381	△0.1	98.4
8月末	22,223	△5.0	99.1
9月末	22,902	△2.1	98.6
10月末	23,867	2.0	99.1
11月末	24,709	5.6	99.1
12月末	25,481	8.9	98.6
2020年1月末	25,452	8.8	98.8
2月末	23,362	△0.1	98.7
3月末	19,958	△14.7	95.7
(期末)			
2020年4月6日	19,057	△18.5	96.7

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2019年4月6日から2020年4月6日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	23,394円
期末	19,057円 (分配金220円(税引前)込み)
騰落率	-18.5% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

[Vanguard] (日本語での「バンガード」を含む)および[tall ship logo]商標は、The Vanguard Group, Inc.が有し、委託会社および承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。また「三井住友・バンガード海外株式ファンド」は、The Vanguard Group, Inc.およびVanguard Investments Japan Ltdより提供、保証または販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。したがって、The Vanguard Group, Inc.およびVanguard Investments Japan Ltdは三井住友・バンガード海外株式ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

基準価額の主な変動要因(2019年4月6日から2020年4月6日まで)

当ファンドは、主として、バンガードが設定・運用するインデックス型の4つの米ドル建て米国籍外国投資信託証券を通じて日本を除く世界主要国の株式に実質的に投資し、グローバルな株式市場(日本を除く)の動きをとらえることを目標に運用を行いました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 米中通商協議の進展や米国の金融緩和を受け、9月から2020年2月にかけて、世界的に株式市場が上昇、米ドルも上昇したこと

下落要因

- 新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、2020年2月から期末にかけて、世界的に株式市場が大きく下落したこと
- 期初から8月にかけては米中通商協議に対する警戒感から、また2020年2月以降は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、リスク回避的な動きから米ドルが対円で下落したこと

組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	期末組入比率
バンガード・グロース・インデックス・ファンド(アドミラル・シェアクラス)	米国株式	31.3%
バンガード・バリュー・インデックス・ファンド(アドミラル・シェアクラス)	米国株式	31.5%
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド(アドミラル・シェアクラス)	欧州株式	29.2%
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド(アドミラル・シェアクラス)	新興国株式	4.7%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について(2019年4月6日から2020年4月6日まで)

当期の世界株式市場は、米国、欧州、新興国のいずれもが下落しました。為替は米ドル安・円高となりました。

米国株式市場

期初から8月にかけては、米中貿易交渉の動向を睨みつつ、市場は概ね横ばいで推移しました。8月下旬には、米中間で貿易紛争の解決に向けた歩み寄りの動きがみられたこと、9月と10月にF R B(米連邦準備制度理事会)が利下げを行ったことなどから、9月から2020年1月にかけて、株式市場は上昇しました。

年明け以降は、中国で新型コロナウイルスの感染が拡大、2月にはアップルがその影響で業績見通しを引き下げたほか、イタリアなど中国およびアジア以外にも感染が飛び火したことから、2月下旬以降は下落しました。

当期の市場の動きをC R S P U S ラージ・キャップ・グロース・インデックスで見ると、期首に比べて4.7%下落しました。C R S P U S ラージ・キャップ・バリュエーション・インデックスは18.7%下落しました。

欧州株式市場

期初から8月にかけては、米中貿易交渉の動向を睨みつつ、英国のE U(欧州連合)離脱に向けた不透明感とE C B(欧州中央銀行)の

金融緩和期待(9月に利下げを実施しました)の綱引きなどにより、市場は概ね横ばいで推移しました。8月下旬には、米中間で貿易紛争の解決に向けた歩み寄りがみられたことで投資家のマインドが好転、政局不安で揺れたイタリアで新たな連立内閣が発足したこともあり、株式市場は10月以降、上昇しました。

年明け以降は中国で新型コロナウイルスの感染が広がり、2月にはイタリアなど中国およびアジア以外にも感染が拡大したことから、2月下旬以降、大きく下落しました。

当期の市場の動きをF T S E 欧州先進国オールキャップ・インデックス(米ドルベース)で見ると、期首に比べて21.7%下落しました。

新興国株式市場

期初から8月にかけては、米中貿易交渉の影響を受けて経済指標が悪化した中国を中心に、下落しました。8月下旬に米中間で貿易紛争の解決に向けた歩み寄りがみられたこと、9月にインドで法人税率の大幅引下げが発表されたことなどから、9月以降は上昇しました。また、ブラジルで中央銀行が過去最低水準まで政策金利を引き下げたことも、反転上

昇のきっかけとなりました。

年明け以降は中国で新型コロナウイルスの感染が広がり、その後世界的に感染が拡大したことを受けて、新興国株式は2月下旬以降、大きく下落しました。

当期の市場の動きをFTSEエマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)インデックス(米ドルベース)で見ると、期首に比べて20.9%下落しました。

為替市場

期初から8月にかけては、米中通商協議に対する警戒感からリスク回避的な動きとなり、

対円で米ドルが下落しました。8月から2020年2月にかけては、米中通商協議の進展や、米国の利下げによる景気浮揚効果が期待され、対円で米ドルが上昇しました。2月以降は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、高水準のボラティリティ(価格変動性)を伴いながら、対円で米ドル安となりました。

当期の米ドル・円は、期首の111円81銭から期末108円96銭と、2円85銭の米ドル安・円高となりました。

ポートフォリオについて(2019年4月6日から2020年4月6日まで)

当ファンド

運用の基本方針に基づきグローバルな株式市場(除く日本)の時価総額を勘案して設定した基本配分比率に沿って下記の4つの投資信託に資産配分を行いました。

追加設定や一部解約に伴う入出金がある場合は、保有現金残高などを考慮した上で売買を行い、組入比率の調整を行いました。

バンガード・グロース・インデックス・ファンド (アドミラル・シェアクラス)

米国成長株のインデックスであるCRSP US ラージ・キャップ・グロース・

インデックスをベンチマークとし、ベンチマークのパフォーマンスへの連動を目指して運用を行いました。

バンガード・バリュー・インデックス・ファンド (アドミラル・シェアクラス)

米国割安株のインデックスであるCRSP US ラージ・キャップ・バリュー・インデックスをベンチマークとし、ベンチマークのパフォーマンスへの連動を目指して運用を行いました。

バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド
(アドミラル・シェアクラス)

F T S E 欧州先進国オールキャップ・インデックスをベンチマークとし、ベンチマークのパフォーマンスへの連動を目指して運用を行いました。

バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド
(アドミラル・シェアクラス)

F T S E エマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)インデックスをベンチマークとし、ベンチマークのパフォーマンスへの連動を目指して運用を行いました。

※CRSP US ラージ・キャップ・グロース・インデックス、CRSP US ラージ・キャップ・バリュー・インデックス、F T S E 欧州先進国オールキャップ・インデックスおよびF T S E エマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)インデックスの著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

ベンチマークとの差異について(2019年4月6日から2020年4月6日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2019年4月6日から2020年4月6日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第17期
当期分配金	220
(対基準価額比率)	(1.154%)
当期の収益	220
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	15,448

当期の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、220円といたしました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未滿を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

運用の基本方針に基づき、グローバルな株式市場(除く日本)の時価総額を勘案して設定した基本配分比率に沿って4つの投資信託に資産配分を行います。

バンガード・グロース・インデックス・ファンド
バンガード・バリュー・インデックス・ファンド
バンガード・ヨーロッパン・ストック・インデックス・ファンド
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド
(アドミラル・シェアクラス)

各ファンドとも、ベンチマークとするインデックスのパフォーマンスへの連動を目指して運用を行います。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

■ 1万口当たりの費用明細(2019年4月6日から2020年4月6日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	257円	1.103%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数)
(投信会社)	(89)	(0.381)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(158)	(0.678)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(10)	(0.044)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.006	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.000)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.005)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	258	1.109	

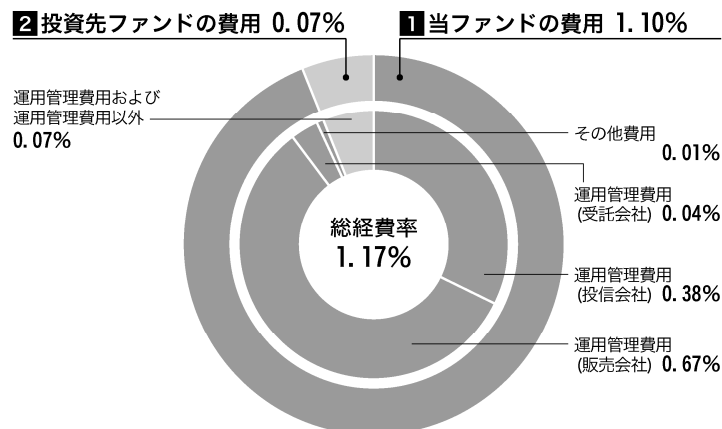
期中の平均基準価額は23,328円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の費用は後掲の「組入れ投資信託証券の内容」をご覧ください。

参考情報 総経費率 (年率換算)



総経費率(1 + 2)	1.17%
1 当ファンドの費用の比率	1.10%
2 投資先ファンドの費用の比率	0.07%

三井住友・バンガード海外株式ファンド

- ※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。
- ※**2**の投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。
- ※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。
- ※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率（年率）は1.17%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2019年4月6日から2020年4月6日まで)

投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外 国	ア メ リ カ	バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド (アドミラル・シェアクラス)	41,946	2,800	7,107	510
		バンガード・グロース・インデックス・ファンド (アドミラル・シェアクラス)	-	-	120,902	10,330
		バンガード・バリュエーション・インデックス・ファンド (アドミラル・シェアクラス)	43,008	1,850	22,976	1,060
小 計			84,954	4,650	150,985	11,900

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

■ 利害関係人との取引状況等(2019年4月6日から2020年4月6日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年4月6日から2020年4月6日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2020年4月6日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)		期 末		組入比率
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%
バンガード・ヨーロピアン・ストック・ インデックス・ファンド (アドミラル・シェアクラス)	829, 821	864, 660	44, 720	4, 872, 719	29. 2
バンガード・エマージング・マーケット・ ストック・インデックス・ファンド (アドミラル・シェアクラス)	264, 719	264, 719	7, 248	789, 745	4. 7
バンガード・グロース・インデックス・ファンド (アドミラル・シェアクラス)	741, 935	621, 033	48, 030	5, 233, 424	31. 3
バンガード・バリュース・インデックス・ファンド (アドミラル・シェアクラス)	1, 418, 550	1, 438, 582	48, 350	5, 268, 299	31. 5
合 計	3, 255, 027	3, 188, 996	148, 349	16, 164, 188	96. 7

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 投資信託財産の構成

(2020年4月6日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 16, 164, 188	% 94. 9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	874, 505	5. 1
投 資 信 託 財 産 総 額	17, 038, 693	100. 0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※期末における外貨建資産(16, 467, 996千円)の投資信託財産総額(17, 038, 693千円)に対する比率は96. 7%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=108. 96円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年4月6日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	17,038,693,344円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	874,504,385
投資信託受益証券(評価額)	16,164,188,959
(B) 負 債	329,804,540
未 払 収 益 分 配 金	195,150,584
未 払 解 約 金	15,416,644
未 払 信 託 報 酬	118,630,791
そ の 他 未 払 費 用	606,521
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	16,708,888,804
元 本	8,870,481,093
次 期 繰 越 損 益 金	7,838,407,711
(D) 受 益 権 総 口 数	8,870,481,093口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	18,837円

※当期における期首元本額9,140,633,804円、期中追加設定元本額871,300,198円、期中一部解約元本額1,141,452,909円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2019年4月6日 至2020年4月6日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	434,285,707円
受 取 配 当 金	△66,627,757,690
支 払 利 息	67,062,043,397
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 4,013,728,418
売 買 益	147,607,283
売 買 損	△ 4,161,335,701
(C) 信 託 報 酬 等	△ 233,065,631
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 3,812,508,342
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	6,098,197,423
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	5,747,869,214
(配 当 等 相 当 額)	(7,599,132,523)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 1,851,263,309)
(G) 計 (D + E + F)	8,033,558,295
(H) 収 益 分 配 金	△ 195,150,584
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	7,838,407,711
追 加 信 託 差 損 益 金	5,747,869,214
(配 当 等 相 当 額)	(7,599,132,523)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 1,851,263,309)
分 配 準 備 積 立 金	6,104,266,915
繰 越 損 益 金	△ 4,013,728,418

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※期末における、費用控除後の配当等収益(201,220,076円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(7,599,132,523円)および分配準備積立金(6,098,197,423円)より分配可能額は13,898,550,022円(1万口当たり15,668円)となり、うち195,150,584円(1万口当たり220円(税引前))を分配金額としております。

■ 分配金のお知らせ

	当 期
1 万 口 当 た り 分 配 金 (税 引 前)	220円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

■ 組入れ投資信託証券の内容

● 投資方針等

ファンド名	バンガード・グロース・インデックス・ファンド (アドミラル・シェアクラス)
運用目標/投資対象	パッシブ運用 (インデックス運用) され、米国成長株のインデックスである CRSP US ラージ・キャップ・グロース・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指します。
インデックス運用手法	インデックスを構成する株式銘柄を、インデックスとほぼ同じ構成割合で保有します。
ベンチマーク	CRSP US ラージ・キャップ・グロース・インデックス
主な投資制限	・限られた範囲で、株式先物、オプション契約、ワラント、転換証券、およびスワップ契約といったデリバティブに投資することができます。投機目的ではこれらのデリバティブを利用しません。 ・一時的または緊急の目的のために純資産の10%を超えない範囲で行う場合を除き、借入れは行いません。
決算日	毎年12月31日
分配方針	分配対象額の範囲は、諸経費等控除後の利子・配当収入および売却実現益等の全額とします。通常年4回 (3月、6月、9月、12月) 分配対象額の全額を分配します。
申込手数料	ありません。
管理費用 (エクスペンス・レシオ)*	0.05%
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

ファンド名	バンガード・バリュー・インデックス・ファンド (アドミラル・シェアクラス)
運用目標/投資対象	パッシブ運用 (インデックス運用) され、米国割安株のインデックスである CRSP US ラージ・キャップ・バリュー・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指します。
インデックス運用手法	インデックスを構成する株式銘柄を、インデックスとほぼ同じ構成割合で保有します。
ベンチマーク	CRSP US ラージ・キャップ・バリュー・インデックス
主な投資制限	・限られた範囲で、株式先物、オプション契約、ワラント、転換証券、およびスワップ契約といったデリバティブに投資することができます。投機目的ではこれらのデリバティブを利用しません。 ・一時的または緊急の目的のために純資産の10%を超えない範囲で行う場合を除き、借入れは行いません。
決算日	毎年12月31日
分配方針	分配対象額の範囲は、諸経費等控除後の利子・配当収入および売却実現益等の全額とします。通常年4回 (3月、6月、9月、12月) 分配対象額の全額を分配します。
申込手数料	ありません。
管理費用 (エクスペンス・レシオ)	0.05%
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

*管理費用 (エクスペンス・レシオ) とはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で除したもので、本書の数値はバンガードが直近の目論見書等で開示したものです (以下同じ。)

三井住友・バンガード海外株式ファンド

ファンド名	バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド（アドミラル・シェアクラス）
運用目標／投資対象	パッシブ運用（インデックス運用）され、FTSE 欧州先進国オールキャップ・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指します。
インデックス運用手法	インデックスを構成する株式銘柄を、インデックスとほぼ同じ構成割合で保有します。
ベンチマーク	FTSE 欧州先進国オールキャップ・インデックス
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> 限られた範囲で、株式先物、オプション契約、ワラント、転換証券、およびスワップ契約といったデリバティブに投資することができます。投機目的ではこれらのデリバティブを利用しません。 一時的または緊急の目的のために純資産の10%を超えない範囲で行う場合を除き、借入れは行いません。 為替市場の変動による影響を避けるため、対米ドルでの為替ヘッジを行う場合があります。
決算日	毎年10月31日
分配方針	分配対象額の範囲は、諸経費等控除後の利子・配当収入および売却実現益等の全額とします。通常年4回（3月、6月、9月、12月）分配対象額の全額を分配します。
申込手数料	ありません。
管理費用 (エクスペンス・レシオ)	0.10%
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

ファンド名	バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド（アドミラル・シェアクラス）
運用目標／投資対象	<ul style="list-style-type: none"> パッシブ運用（インデックス運用）され、FTSE エマージング・マーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックスのパフォーマンスへの一致を目指します。 通常概ねすべて（最低でも95%）の資産を、インデックスを構成する株式銘柄に投資します。
インデックス運用手法	インデックスを構成する株式のうち、代表的な銘柄を保有します。
ベンチマーク	FTSE エマージング・マーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> 限られた範囲で、株式先物、オプション契約、ワラント、転換証券、およびスワップ契約といったデリバティブに投資することができます。投機目的ではこれらのデリバティブを利用しません。 一時的または緊急の目的のために純資産の10%を超えない範囲で行う場合を除き、借入れは行いません。 為替市場の変動による影響を避けるため、対米ドルでの為替ヘッジを行う場合があります。
決算日	毎年10月31日
分配方針	分配対象額の範囲は、諸経費等控除後の利子・配当収入および売却実現益等の全額とします。通常年4回（3月、6月、9月、12月）分配対象額の全額を分配します。
申込手数料	ありません。
管理費用 (エクスペンス・レシオ)	0.14%
その他手数料	既存投資者の資産保護のために必要であるとバンガードが判断したとき、購入資金および売却資金から、財産維持手数料が直接支払われる場合があります。2018年10月31日現在、当該財産維持手数料はかかっておりません。
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

※CRSP US ラージ・キャップ・グロース・インデックスおよびCRSP US ラージ・キャップ・バリュー・インデックスはシカゴ大学証券価格調査センター（CRSP）、FTSE 欧州先進国オールキャップ・インデックスおよびFTSE エマージング・マーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックスはFTSE インターナショナル・リミテッドが、それぞれ公表している指数で各社の知的財産です。

※指数を公表する各社は当ファンドの運用と何ら関係ありません。

※ベンチマークは一般的に同じ市場を測定する他のインデックスに変更される可能性があります。

●直近決算概要

バンガード・グロス・インデックス・ファンド（アドミラル・シェアクラス） （計算期間：2019年1月1日～2019年12月31日）

基準価額（米ドル建て）の推移



※分配金再投資ベース

※当社でデータ取得が可能となった2019/1/25～2019/12/31のグラフです。

基準価額（円建て）の推移



※分配金再投資ベース

※外貨建ての基準価額を日本の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算しています。

※当社でデータ取得が可能となった2019/1/25～2019/12/31のグラフです。

組入上位10銘柄

（基準日：2019年12月31日）

銘柄名	組入比率
Microsoft Corp.	8.8%
Apple Inc.	8.6%
Amazon.com Inc.	5.7%
Facebook Inc.	3.6%
Alphabet Inc.	2.9%
Alphabet Inc. Class C	2.9%
Visa Inc.	2.3%
Mastercard Inc.	2.0%
Home Depot Inc.	1.7%
Comcast Corp.	1.5%
全銘柄数	280銘柄

※組入比率は純資産総額に対する割合です。

費用明細

項目	比率
エクスパンス・レシオ	0.05%

※エクスパンス・レシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

組入上位5業種

（基準日：2019年12月31日）

業種	組入比率
テクノロジー	39.3%
消費者サービス	18.8%
金融	13.2%
資本財	13.2%
ヘルスケア	7.8%

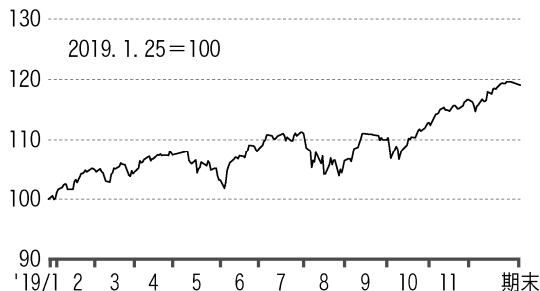
※業種は業種分類ベンチマーク（ICB）基準による分類です。

※組入比率はポートフォリオに対する割合です。

バンガード・バリュー・インデックス・ファンド（アドミラル・シェアクラス）

（計算期間：2019年1月1日～2019年12月31日）

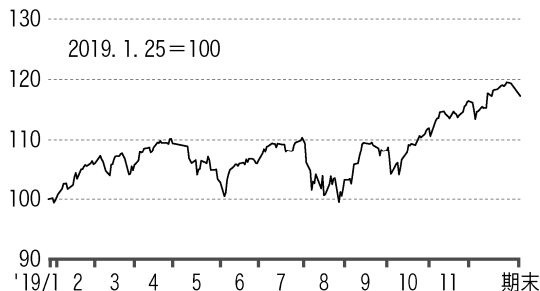
基準価額（米ドル建て）の推移



※分配金再投資ベース

※当社でデータ取得が可能となった2019/1/25～2019/12/31のグラフです。

基準価額（円建て）の推移



※分配金再投資ベース

※外貨建ての基準価額を日本の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算しています。
 ※当社でデータ取得が可能となった2019/1/25～2019/12/31のグラフです。

組入上位10銘柄 (基準日：2019年12月31日)

銘柄名	組入比率
Berkshire Hathaway Inc.	3.2%
JPMorgan Chase & Co.	3.0%
Johnson & Johnson	2.8%
Procter & Gamble Co.	2.2%
Exxon Mobil Corp.	2.1%
AT&T Inc.	2.1%
Bank of America Corp.	2.0%
UnitedHealth Group Inc.	2.0%
Walt Disney Co.	1.9%
Intel Corp.	1.9%
全銘柄数	332銘柄

※組入比率は純資産総額に対する割合です。

費用明細

項目	比率
エクスパンス・レシオ	0.05%

※エクスパンス・レシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。
 ※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

組入上位5業種 (基準日：2019年12月31日)

業種	組入比率
金融	23.5%
ヘルスケア	17.9%
消費財	11.5%
資本財	11.0%
消費者サービス	8.5%

※業種は業種分類ベンチマーク（ICB）基準による分類です。
 ※組入比率はポートフォリオに対する割合です。

バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド

(アドミラル・シェアクラス)

(計算期間：2018年11月1日～2019年10月31日)

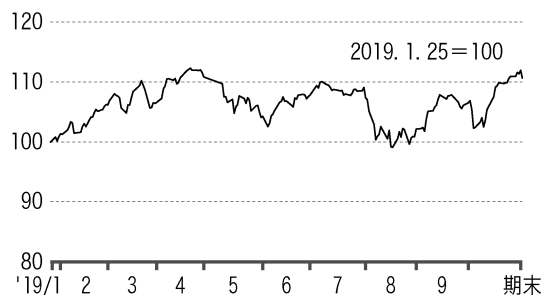
基準価額（米ドル建て）の推移



※分配金再投資ベース

※当社でデータ取得が可能となった2019/1/25～2019/10/31のグラフです。

基準価額（円建て）の推移



※分配金再投資ベース

※外貨建ての基準価額を日本の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算しています。

※当社でデータ取得が可能となった2019/1/25～2019/10/31のグラフです。

組入上位10銘柄

(基準日：2019年10月31日)

銘柄名	組入比率
Nestle SA	3.0%
Roche Holding AG	2.1%
Novartis AG	1.8%
HSBC Holdings plc	1.5%
SAP SE	1.3%
AstraZeneca plc	1.2%
TOTAL SA	1.2%
BP plc	1.2%
GlaxoSmithKline plc	1.1%
Royal Dutch Shell plc Class B	1.0%
全銘柄数	1,350銘柄

※組入比率は純資産総額に対する割合です。

費用明細

項目	比率
エクスペンス・レシオ	0.10%

※エクスペンス・レシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

組入上位5業種

(基準日：2019年10月31日)

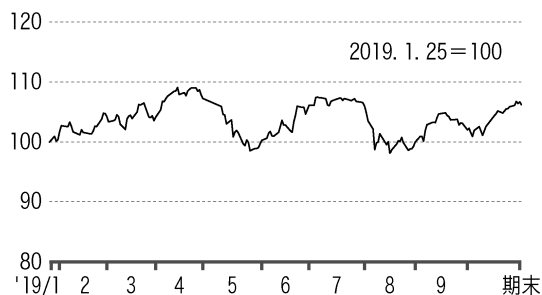
業種	組入比率
金融	20.7%
消費財	17.8%
資本財	15.5%
ヘルスケア	13.6%
石油・ガス	6.9%

※業種は業種分類ベンチマーク（ICB）基準による分類です。

※組入比率はポートフォリオに対する割合です。

バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド (アドミラル・シェアクラス) (計算期間：2018年11月1日～2019年10月31日)

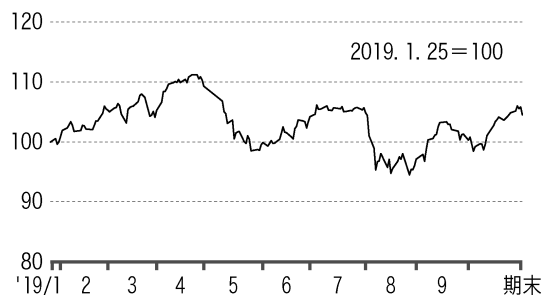
基準価額（米ドル建て）の推移



※分配金再投資ベース

※当社でデータ取得が可能となった2019/1/25～2019/10/31のグラフです。

基準価額（円建て）の推移



※分配金再投資ベース

※外貨建ての基準価額を日本の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算しています。

※当社でデータ取得が可能となった2019/1/25～2019/10/31のグラフです。

組入上位10銘柄 (基準日：2019年10月31日)

銘柄名	組入比率
Alibaba Group Holding Ltd. ADR	4.2%
Tencent Holdings Ltd.	3.9%
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	2.5%
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd. ADR	1.6%
China Construction Bank Corp.	1.2%
Reliance Industries Ltd.	1.1%
Ping An Insurance Group Co. of China Ltd.	1.1%
Naspers Ltd.	1.0%
Industrial & Commercial Bank of China Ltd.	1.0%
Housing Development Finance Corp. Ltd.	0.9%
全銘柄数	5,074銘柄

※組入比率は純資産総額に対する割合です。

費用明細

項目	比率
エクスペンス・レシオ	0.14%

※エクスペンス・レシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。
※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

組入上位5業種 (基準日：2019年10月31日)

業種	組入比率
金融	29.0%
テクノロジー	16.2%
消費者サービス	11.8%
資本財	9.4%
消費財	8.7%

※業種は業種分類ベンチマーク（ICB）基準による分類です。
※組入比率はポートフォリオに対する割合です。